

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 18-020)

1 IUU 漁業を抑止、摘発するための 1,650 万平方 km に渡る 10 日間の合同取締り活動が 10 か国のフォーラム漁業機関 (FFA) メンバー国とフィジー、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、米国などの 4 か国間防衛調整グループにより実施され、違反行為を認めず (この取組みは FFA により主導)

[原文](#)

(10 August 2018, Forum Fisheries Agency)

2 4 つの太平洋島嶼国は、約 15 億 US ドルの気候変動に関する基金 (加盟国等がインフラ整備に充てる) の設置に合意

[原文](#)

(11 August 2018, Samoa Observer)

3 フランス領のウォリス・フツナ諸島は、来月のナウルでの太平洋諸島フォーラムサミットにおいて、準メンバーとして認められる予定

[原文](#)

(13 August 2018, Radio NZ)

4 サモア首相は、中国からの観光客 (去年は 3,000 人) をさらに呼び込むために、来月、民間人も同行させて中国を訪問予定

[原文](#)

(15 August 2018, Radio NZ)

5 サモアの海上警察が、オーストラリアが供与した監視船が化学物質や危険物を扱う際に必要な装備 (60,000AU ドル相当 : 約 480 万円) を同国から供与される

[原文](#)

(15 August 2018, Samoa Observer)

6 パプアニューギニアの漁業・海洋資源相は、ナウルで行われたナウル協定加盟国閣僚会議において、他の地域と比較しても西太平洋のマグロの漁獲量が過剰ではないことを報告 (出席した閣僚は今後も厳しい保護措置をとるべきことに合意)

[原文](#)

(15 August 2018, The National PNG)

7 パラオ大統領は、全ての政府庁舎等におけるプラスチック製品（ペットボトル、食器等）の提供を禁止する法案に署名（企業が、環境に配慮したオプションを顧客に提供し、パラオへの訪問者に環境を保存するよう教育することを求める法案にも、同大統領は署名）

[原文](#)

(17 August 2018, Radio NZ)

【トンガ首相の中国からの負債に関する発言関連】

8 トンガ首相はサモアでの太平洋諸島フォーラム外相会議にあわせて行われたインタビューにおいて、「太平洋島嶼国は中国から融資を求めるのを控えるとともに、来月の太平洋諸島フォーラム首脳会議の議題とすべきである」と発言

[原文](#)

(14 August 2018, Samoa Observer)

9 トンガ首相は、中国が太平洋島嶼国から借金を帳消しする代わりに、同地域の戦略的な資産が奪取される可能性に不安を表明（スリランカ南部のハンバントタ港の運営権が中国企業に移ったことを前提に、太平洋島嶼国でも起きる可能性について発言）

[原文](#)

(16 August 2018, Channel News Asia)

10 トンガ首相は、「融資を無償供与に切り替えるように、太平洋島嶼国が協力して中国に求めることについて、今は適切な時期ではない」と、先週の発言から態度を豹変

[原文](#)

(17 August 2018, Radio NZ)